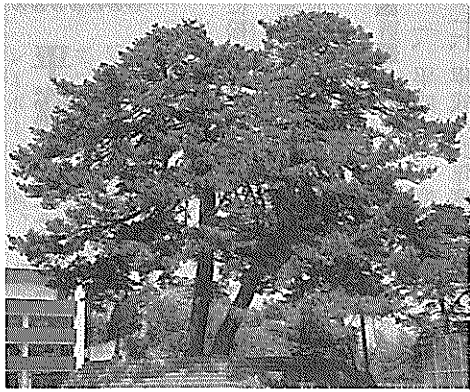


双松会会報

第22号「双松会」通巻26号「松高北高同窓会報」通巻26号

発行 松江市奥谷町164 島根県立松江北高等学校内 双松会事務局 TEL ②4888・②0655
印刷 有限会社松陽印刷所 TEL ②3418



創立百二十五周年を迎えて

会長 井戸内 正



明治九年、松江中学校が教育伝習所変則中学校として創立されて以来、今年、栄えある百二十五周年を迎えました。

松江北高等学校は、幾多の変遷を経ながら松江北高等学校に引き継がれ、校地も殿町、赤山、西川津、赤山と四転いたしました。二十世紀の意義深い年にこの記念の日を迎えました。これは誠に慶びに堪えません。

この間、質実剛健の校風のもと三万五千余名に及ぶ卒業生を輩出し、若槻礼次郎先生、竹下登先生、お二人の内閣総理大臣をはじめ数多くの俊英が活躍された分野で、また、世界の至る所で活躍され、しかも、それぞれに指導的

赤山道場での教育

校長 鞆嶋 弘明



たいへんな暑さとなりましたが、双松会会員の皆様方には益々御健勝の事と存じます。

松江北高校も今年で創立百二十五周年を迎え、今年11月17日(土)には創立百二十五周年記念行事を行うことになりました。私もこのように節目の記念式典に校長として参加できる事に、心から喜びを感じています。私も松江北高校にお世話になるのも17年目を迎えて、その間松江北高校に教師として育てていただいた経過もあり、少しも恩返しと思ひ、このような百二十五周年の節目の年を立派な年にしたいと、職員といっしょになつて北高生を育てるため、日々奔走しています。今一学期を終了し夏季演習に入つた所ですが、今年度も生徒・先生方の頑張りや例年以上の成果を上げつつあります。

今春三月の進路状況を見ますと、国立大学合格者三百五十五名、私立大学合格者五百七十七名、短期大学等合格者七十一名となっております。今年の特徴は東京大学合格者十二名をはじめ、旧帝大と言われる大学への合格者が約七十名であった事です。民間の企業への調査によりますと今年も量・質共に全

開催して組織の活性化と会員の親睦を図りたいという願からであります。創立百二十五周年の記念総会を来る十一月十七日、松江市において開催することに決定いたしました。各期を代表する実行委員によって実行委員会を設置し内容の充実した大会にしたいと存じます。

素晴らしい定期演奏会を開催し、秋の全国大会での入賞が期待される所です。このように松江北高校の教育活動は順調に進んでいます。今後の私の課題は実績にこだわらず実績を上げなければならぬ事です。実績は振り振りかまわず鍛えればそれなりに多少はあがりますが、それは頂点に立つ事はできませんし、それは学校をなしません。学校という所は生徒の自主性を育てながら鍛えて行かないといけません。そして生徒が卒業してから学校に行つて見たいと思うようにならないといけません。特に松江北高校は自由な校風を重んじ、質実剛健たくましい人間の育成をめざす伝統があります。私はこの伝統を守り、たくましい人間育成をめざし、結果として実績が上がっている状況にしたいと思ひます。

私の持論ですが、大学入試でも部活動の大会でも、とかく当日どう頑張るか勝負と良く言われますが、私は大会やテスト前日までには勝負は決まっていますと思ひます。従つて私は当日よりも平素に注目しています。最近の生徒は昔の生徒と比べ、やや根気がなく、精神的に弱いと思われまふ。その生徒に日々緊張感を持たせ、一つ一つの教育活動に効果を上げる事がすべてにつながり、大切で、中々至難のわざですが、本校の先生方の指導力と献身的な働きがあれば必ずできると思ひますので、私も先生方といっしょになつ

年の同窓会で十数年ぶりに再会した彼と互いに「よお」「やあ」と声をかけた途端に空白の時間は忽ちに吹き飛んで昔の中学生の気分に戻るところが同窓会であると考えます。

先輩の英智と汗によって築き上げられた歴史と伝統は同窓生の誇りであり、一人ひとりの心の中に脈々と生き生きと伝わる。質実剛健の精神は今なお健在であります。

やがて社会人として、二十一世紀の多難な道を切り開いていかなければならぬ生徒諸君にとって、赤山での三年間の学園生活が生涯の思ひ出となり、心の糧となり、活力となることを心から願っています。

てこの赤山道場を守り、松江北高校をさらに発展させたいと思ひます。双松会の会員の皆様も二十一世紀を支える後輩のために松江北高校を温かく見守り御支援のほどよろしくお願ひいたします。また11月17日(土)の百二十五周年の記念式典の成功のため、ぜひ出席していただくようお願いいたします。

よもや勤めることなどあるまいと思つてたが、ひょんなことからお世話になることになってしまった。母校といつても、卒業は二十数年前、当然のことながら所謂「川津校舎」の最後の世代で、残念ながら赤山とは縁もゆかりもない。と思ひこんでいたが、先日「百年史」をめくって、あることを思い出した。双松会のシンボル双松の最も古い写真が我が家のアルバムに確かにあるはずだということである。老父母のおぼろげな記憶を頼りに納屋の中を引っかき回すこと半日、遂に発見。縦二十センチ横十四センチのすっきり黄ばんだ写真がアルバムの中に貼り付けてあった。明治二十九年、塩野家が、赤山寄贈の際に二本松の下で別れの宴を張っている写真である。百年以上の写真は、もはや人影も定かではないが、松の脇に定紋入りの幔幕を廻らし、十名ばかりの人物が、崖下のカメラに向かって思ひ思いのポーズで別れを告げているのが見てとれる。既に離れていった塩野家に代わり、親戚総代としてこの宴を張った曾祖父利貞もどこかにいるはずである。右から三人目、明らかに子供のように見えるのは祖父耕一ではなからうかと思われ。祖父は後々までこの時の様子を孫子に語って聞かせていた。このアルバムにはその他にも、柔道部時代の祖父やポルト大会に出場した際の記念写真など、明治の青春がぎゅっしりと詰まっている。変わったところでは、戦前行われていた武者行列の武者揃いの写真などもある。城山本丸下で各家伝来の鎧兜に身を固め、旗さしものや槍の林立した様は勇壮というよりも、どこか滑稽でほほえましい。その様子をぼんやり見ている子供が坊主刈りで着物に下駄履きというのも時代をよく表している。

本年は創立一二五周年ということで、双松会では盛大な記念式典を予定しており、その中で一二五年を振り返るスライドの上映が計画されているようだが、これを機会に、少しづつでも各家庭に残されている貴重な記録を収集・整理していくことができればと願っています。

事務局より

平成13年4月の人事異動による事務局(校内幹事)の転出入

坂本 育穂 (昭和42年通信制)
鹿島 浩二 (第10期)
原田 幹夫 (第11期)
鶴石 和子 (第11期)
山田 和彦 (第22期)
森山 成子 (第34期)
奥名 正徳 (第39期)
鈴木 由美 (第41期)

〈転入〉
松村 豊 (第18期)
石橋 美香 (第38期)
原 克美 (第43期)
卜部 美子 (第44期)

松 籟

よもや勤めることなどあるまいと思つてたが、ひょんなことからお世話になることになってしまった。母校といつても、卒業は二十数年前、当然のことながら所謂「川津校舎」の最後の世代で、残念ながら赤山とは縁もゆかりもない。と思ひこんでいたが、先日「百年史」をめくって、あることを思い出した。双松会のシンボル双松の最も古い写真が我が家のアルバムに確かにあるはずだということである。老父母のおぼろげな記憶を頼りに納屋の中を引っかき回すこと半日、遂に発見。縦二十センチ横十四センチのすっきり黄ばんだ写真がアルバムの中に貼り付けてあった。明治二十九年、塩野家が、赤山寄贈の際に二本松の下で別れの宴を張っている写真である。百年以上の写真は、もはや人影も定かではないが、松の脇に定紋入りの幔幕を廻らし、十名ばかりの人物が、崖下のカメラに向かって思ひ思いのポーズで別れを告げているのが見てとれる。既に離れていった塩野家に代わり、親戚総代としてこの宴を張った曾祖父利貞もどこかにいるはずである。右から三人目、明らかに子供のように見えるのは祖父耕一ではなからうかと思われ。祖父は後々までこの時の様子を孫子に語って聞かせていた。このアルバムにはその他にも、柔道部時代の祖父やポルト大会に出場した際の記念写真など、明治の青春がぎゅっしりと詰まっている。変わったところでは、戦前行われていた武者行列の武者揃いの写真などもある。城山本丸下で各家伝来の鎧兜に身を固め、旗さしものや槍の林立した様は勇壮というよりも、どこか滑稽でほほえましい。その様子をぼんやり見ている子供が坊主刈りで着物に下駄履きというのも時代をよく表している。

平成十二年度 役員会報告

本年度の役員会は、六月十六日(土)に松江北高校会議室に於いて開催。井戸内会長を議長として、次の議題について審議が行われた。

議題

- 一、平成十二年度会務報告
二、平成十二年度会計決算報告
三、平成十三年度会務計画
四、平成十三年度予算案審議
五、松江北高校概況報告
六、百二十五周年記念総会について
七、その他
議題一〜四については原案通り承認された。六については素案が事務局より出され、組織、業務内容等について了承され今後の実行委員会ですらに細かく検討される。

平成十三年度双松会役員

Table listing board members including Chairman (柴田 午郎), Vice-Chairman (兼折 博), and various committee members with their names and affiliations.



平成12年度 双松会会計決算書

Summary table for 2021 fiscal year: 収入総額 ¥5,781,373, 支出総額 ¥4,169,056, 差引残高 ¥1,612,317

【収入】

Income statement table for 2021 fiscal year with columns for item, budget, actual, change, and remarks.

平成13年度 双松会会計予算書

【収入】

Income statement table for 2022 fiscal year budget with columns for item, budget, previous year, change, and remarks.

【支出】

Expense statement table for 2021 fiscal year with columns for item, budget, actual, change, and remarks.

【支出】

Expense statement table for 2022 fiscal year budget with columns for item, budget, previous year, change, and remarks.

松江北高通信制同窓会役員名簿

平成13年度予算

松江北高校通信制同窓会

Table listing alumni board members with columns for position, name, and graduation year.

【収入】

Income statement table for 2022 fiscal year budget for the alumni association.

【支出】

Expense statement table for 2022 fiscal year budget for the alumni association.

予備費内200,000円を将来の記念事業のため特別会計へ

特別会計(積立金)

Table showing special account (savings) for 2021 and 2022 fiscal years.



通信制同窓会報告

事務局 日野 雅之

日時 7月14日(土曜日)15時
場所 パレスティーまがたま(松江)

- 出席役員 (一) 卒業年
 藤原 万也(43) 松江・会長
 野津 裕(43) 松江・副会長
 広永 浩二(40) 美都・副会長
 坂本 育穂(42) 松江
 柳楽マサミ(42) 出雲
 瀬崎 鶴夫(43) 安来
 松本 一司(44) 松江
 森山 峯也(45) 兵庫・尼崎
 高木恵美子(45) 松江
 伊豆名保子(48) 能義・伯太
 中島 実(50) 松江
 中井 正(52) 大原・大東
 杉原 之栄(54) 松江
 多久和京子(55) 松江
 海透 晃司(61) 松江
 竹下 孝子(1) 松江
 花田 広紀(2) 松江
 藤原 重成(3) 八束・島根
 河瀬 悦子(4) 平田
 高梨 包美(5) 松江
 千原 朋(8) 八束・鹿島
 景山 豊満(10) 松江
 三島 春美(11) 出雲
 後藤 寛(45) 松江・監事
 事務局 勝部教頭先生、木下先生、日野

日程 会長あいさつ 藤原会長
学校現況報告 勝部教頭

議事

- (1) 平成十二年度決算
 同監査報告 後藤監事
 (2) 会務報告
 昨年度派遣費補助を行った全国
 定通大会は、日立生がいなくなっ
 て、一般生のみ選手出場となっ
 た。卓球2名、陸上1名、女子バ
 レーボール7名、バドミントン2

名、計12名であった。陸上では一〇〇m準決勝進出、バドミントンは1名がベスト16であった。男子バレーボール、女子バスケットボール昨年の女子バレーボールと三年連続のユニフォーム寄贈であった。

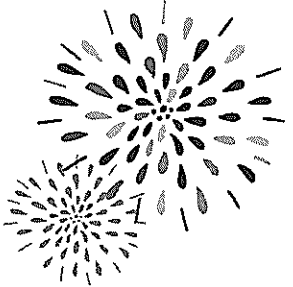
地域同窓会として申請のあったものは「近畿地区通信制同窓会」があった。
 同窓会開催の際は事務局にご一報下さい。次のような補助をします。10名以上一万円、10名以下五千円。

(3) 平成十三年度予算
 今年は百一十五周年であるため、事業費十万円を計上、将来の記念事業のため二十万円を一般会計から特別会計へ、また、昨年まで、全国定通体育大会派遣費補助として、一人当り千五百円を支出していたが事務局の提案で千円アップの二千五百円を討議、一般生の自己負担の大変さを考慮して了承された。

今年の大会は、卓球1名、陸上1名、男子バレーボール7名、女子バレーボール8名、バドミントン1名、男子バスケットボール6名、計24名の出場である。

懇親会 一年に一回の顔合わせのこととして盛会、閉会一七時半。

ご寄付を頂ければ、ぜひお願い致します。同窓会費は終身会費で、収入にも限りがあります。どうかよろしく。



平成十三年度総合体育大会 男女総合優勝

(Aグループ大規模校) 二二九点

女子総合一位 四年連続十六回目 一一六点

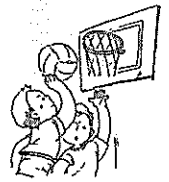
男子総合二位 六年ぶり五回目 一〇三点

第三十九回島根県高等学校総合体育大会は、五月二十五日〜六月四日まで県内各地三十八会場で七五五名の参加の下、熱戦が繰り広げられました。この大会は本校にとりましては、この二十年近く敵なしの状態、残るは前人未踏の四連覇をすることでした。

二八・二九・三〇・三一回大会優勝、三十一回二位、三十二・三十三・三十四回大会優勝、三十五回二位、三十六・三十七・三十八回優勝、三度の挑戦で三十九回大会を優勝し二十一世紀スタートの年に高体連の歴史に残る男女総合四連覇の輝かしい記録を樹立しました。

本校教育の大きな柱である文武両道の名のもとに、生徒諸君が自らを高めることに喜びを感じ、何よりも自分自身のために努力する姿勢がないと達成できるものではありません。六月三日の日曜日、まだ大会期間中ではありましたが、すでに試合の終了した部の選手が何人も自主練習しているのを見た時、本校生徒は競技を通じて本分である学習活動を伸ばし、一人の人間として大きく成長してくるのを確信しました。八月の熊本での全国大会には水泳がまだ予選が残っていますので四十名を上回る人数になりそうです。皆様の熱い声援宜しくお願い致します。以下、大会の主な成績と全国大会への出場者をあげておきます。

- 全国大会出場者
 ●陸上 小笹 淳・池本 将大
 畑 裕美子・島田 弥希子
 石橋 香・清水 遥
 井上 千里・田中 希
 永田 知子・小林 可奈
 新田 佳世
 ●柔道 谷村 祥子・浜松 怜子
 奥原 由佳・村上 裕美子
 金津 美咲・廣江 香織
 吉岡麻紀子・青田 香織
 大塚 麻依・豊島 緑
 ●バスケット 藤原 温
 原 由佳
 谷村 祥子
 奥原 由佳
 金津 美咲
 吉岡麻紀子
 大塚 麻依



テニス 和田 衣世
 赤松 学・持田 誠也
 大輝 洋平・温品 俊一
 原 司・錦織 玲奈
 是津みゆき・庄司 礼絵
 長谷川奈緒美・野木青空
 宮廣 良子・中嶋有利子
 難波 有利・大野未来子
 以上40名

ボート 宮廣 良子・中嶋有利子
 難波 有利・大野未来子
 以上40名

バドミントン 野津 裕
 松本 一司
 柳楽マサミ
 瀬崎 鶴夫
 坂本 育穂
 広永 浩二
 野津 裕
 藤原 万也

男子団体 野津 裕
 松本 一司
 柳楽マサミ
 瀬崎 鶴夫
 坂本 育穂
 広永 浩二
 野津 裕
 藤原 万也

女子団体 野津 裕
 松本 一司
 柳楽マサミ
 瀬崎 鶴夫
 坂本 育穂
 広永 浩二
 野津 裕
 藤原 万也

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

水泳 池田 佳
 男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

男子団体 池田 佳
 女子団体 池田 佳

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

男子団体 池田 佳
 女子団体 池田 佳

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

男子団体 池田 佳
 女子団体 池田 佳

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

男子団体 池田 佳
 女子団体 池田 佳

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

男子団体 池田 佳
 女子団体 池田 佳

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

男子団体 池田 佳
 女子団体 池田 佳

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

男子団体 池田 佳
 女子団体 池田 佳

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

男子団体 池田 佳
 女子団体 池田 佳

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

男子団体 池田 佳
 女子団体 池田 佳

男子60kg級 長野 二
 男子81kg級 長野 二
 男子100kg級 長野 二

男子57kg級 池田 佳
 男子バレーボール 池田 佳

二〇〇M平泳ぎ 野津 一位
 四〇〇Mメドレーリレー 妹尾 二位
 四〇〇Mリレー 野津 三位

ボート 野津 一位
 男子 野津 一位
 女子 野津 一位

ダブルスカル 野津 一位
 舵手付きクォドルプル 野津 一位
 シングルスカル 野津 一位

ダブルスカル 野津 一位
 舵手付きクォドルプル 野津 一位
 シングルスカル 野津 一位

登山 野津 一位
 空手道 野津 一位
 男子個人形 野津 一位

男子団体形 野津 一位
 男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

男子個人形 野津 一位

ダブルス 庄司 一位
 是津・長谷川 二位
 男子団体 庄司 一位
 女子団体 庄司 一位
 男子個人 庄司 一位
 女子個人 庄司 一位
 サッカー 庄司 一位
 バスケットボール 庄司 一位
 男子 庄司 一位
 女子 庄司 一位

学園祭のご案内

前年未踏の総体四連覇を成し遂げた今年、三学年という三つの「火」が力を合わせ、再び若力を燃え上げたい。そのような思いを込めて考えられたテーマです。

●文化祭 9月6日(木)・7日(金)
 第一日目のメイン行事は合唱・吹奏楽・華曲・演劇・ダンスの発表。文化部の展示では日々の活動の成果を発表します。

●第二日目は二学年ルーム出し物、一日目の予選を勝ち抜いた一年生による北高フォーラムの準決勝・決勝、北高コンサート、家庭クラブ発表、フリーマーケット、映画会、文化部展示等多くの企画を準備しています。特に北高フォーラムは、一年生各ルームの代表者が決められたテーマについて議論を戦わせるダイナミックな大会です。現代の高校生が社会問題に対する関心の高さがご覧頂けるのではないかと期待しています。

●体育祭 9月8日(土)
 午前中は各対抗の競技。午後からは北高名物三年生による野外劇「ベイシエン」フィナーレは北高伝統のソーダ節と続きます。また体育祭を彩るデコレーションは、一年生が創意工夫を凝らしたものです。

今年度の学園祭も有意義なものになるよう生徒諸君が頑張っています。ぜひご来校下さい。

今春の進学状況

今春の卒業生の大学進学状況をまとめました。数年前から、減少が続いてきた十八才人口の減少に歯止めがかかり、今年センター試験現役志願率は前年から一%伸び三三・四%となりました。高校生の三人に一人以上がセンター試験に受験していることになりました。国立大学では、定員が削減されたにもかかわらず、志願者は増加し、実質倍率五・四倍を越える厳しい入試になりました。

高校総体では前人未踏の四連覇を成し遂げました。三年生諸君はこの優勝を励みにして大きく飛躍してくれることを期待しています。来春の入試は、センター試験の出願者がさらに増加すると思われまます。国立大学は定員が削減され、厳しい状況が続きます。現在、学校では全校をあげて夏季演習を行っています。暑さの中でそれぞれの夢を実現させるために汗を流しています。

今後先輩諸君のご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

平成13年度入試学校種別合格者延べ数及び就職者数(平成13年3月集計)

Table with columns for school type (National, Public, Private, etc.) and years (Heisei 10, 11, 12, 13), showing counts for current, graduates, and total, as well as employment and class numbers.

創立125周年双松会記念総会について

以下の事柄については、役員会及び第一回実行委員会に於いて了承されておりまます。

総会開催について

期日 平成13年11月17日(土)
会場 ホテル一畑(サンシャインホール及び平安の間)

日程

- ① 開会の挨拶
② 物故者に対して慰霊黙禱
③ 会長挨拶
④ 学校近況報告(学校長)
⑤ 来賓祝辞
⑥ 来賓紹介
⑦ 功労者表彰
⑧ 校歌斉唱
⑨ 閉会の挨拶
⑩ 記念講演(サンシャインホール)
⑪ 閉会式典(サンシャインホール)

記念講演講師紹介

- ④ 乾杯・歓談
⑤ 万歳三唱
⑥ 閉会の挨拶
和田(旧姓木幡)亮介 略歴
昭和六年六道町木幡家(八雲本陣)に生れる。
昭和二十五年新制松高(一期)卒業
後、島根大学文学部に進学
昭和二十九年東レ(東洋レーヨン)入社。
昭和三十三年和田家へ入婿、同三十二年和田哲嗣へ入社。
同五十年三代目社長に就く。
平成十二年(二〇〇〇年)会長就任、現在に至る。

新聞掲載広告及び

広告料の徴収について

※広告料のお願い

前回の記念総会の際にもご協力をいただき、総会への案内及び本校の歴史等を、新聞に掲載いたしました。今回も各期ごとに三〇,〇〇〇円ずつの広告料をご負担願ひ、新聞広告を掲載する予定にしております。お手数をおかけしますが、各期でとりまとめのうえ、第二回実行委員会(九月二十九日)までに払い込みをお願いいたします。

各期たより

尚、払込みの方法については、すでに各期の実行委員または幹事に連絡しております。

ああ母校

松江高校七期生は昭和三十一年に卒業している。この年の経済白書は「もはや戦後ではない」と発表していた。卒業して四十五年。記念同窓会を五日東本町のワシントンホテルで催した。参加するもの二〇余名。兼折博、林正雄、大熊喜三郎先生をお迎えしている。

生を激励してください。

六日のある午後。同窓会幹事で母校の教師でもあった安部昭彦君と西川津校舎跡を訪ねてみた。

ここへ母校が統一されたのは昭和二十五年のこと。そして三十年後には赤山へ移る。その跡地は、くにびき道路を間に県立プール、駐車場と北公園に分断されている。

母校を心の古里とすれば、わが母校の跡地に「質実剛健」の石碑は残されていても、大方の追憶の縁もない今にしてみれば、旧西川津生にとっては実に寂しい限りである。

次いで、松江北高に向う。職員で西川津組の二期・西村一子さんに案内してもらった百周年記念館「起雲館」で若槻禮次郎首相や岸清一博士ら多くの先学の偉業に触れ、改めて母校の歴史の重みを知るのである。

現在、双松は残念なことにも隻木になっているが、これを仰ぎ見て育った諸生にとって、この母校の象徴は生涯、胸裡から消えることはないだろう。

双松の下に立って二人は歌う。
ああ紅陵に正気あり 青春の子が熱血の

松中六十八期生、東京会が平成十二年十一月十八日、東京、赤坂「割烹旬作」において開催されました。

松江高校十一期生、還暦記念同窓会が、平成十三年十一月三日、午後五時より、松江殿町「サンラボーむらくも」において開催されます。